

7月には、フロアにて「流しそうめん」を行いました。



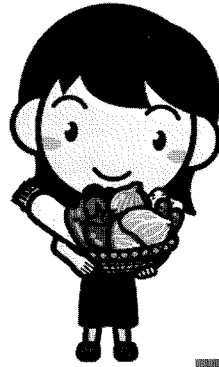
フロアには、夏らしい民謡の音楽を流し、職員は夏らしい装い（ハッピーなど）をして、少数のグループごとに楽しんでいただきました。

いつもお食事を召し上がらない方も、気づけば、ご自身でお箸を持ちお口に運んでズルズルとすすって召し上がっている姿が見られ、職員も感激の瞬間でした。

春から育てていた畑の作物が収穫の時期になりました。



トマト・きゅうり・なすをはじめ、葉物野菜や枝豆などもふんだんに実っています。収穫したその場やその日のお昼など、お野菜をみなさんと味わったり調理したりしています。



しかし、食べきれないほどなので、ご利用者と栄養士さんや厨房へ“おすそわけ”に出かけたりもしています。

おすそわけ

だなんて“隣組”みたいでしょう。

夢中・集中して、作成されていらっしまった作品です。

あるご利用者は、お風呂のお声掛けをしても、ご自身が切が良くなるまで手を止めません！

もちろん、複数のご利用者や職員も関わっています。ご利用者の参加の様子やこだわりもさまざまです。みなさん個々に出来ることに対して参加をされ、完成しました。



**認
知
症**

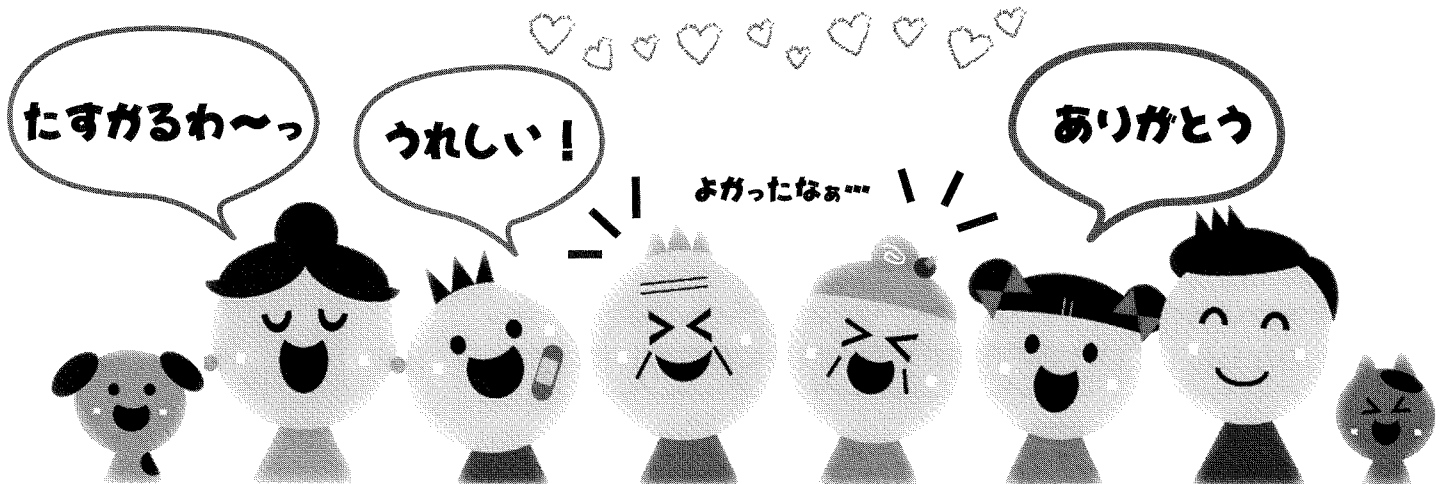
デイサービス新聞 第10号

平成25年9月1日発行(季刊)
中心荘第一・第二老人ホーム
地域密着型認知症対応型通所介護
☎046(231)7152



認知症対応型デイサービス

人は、誰かから、物や場面を提供されるだけではなく、本来は、“自分の為に働く・誰かの為に働く(役に立つ)ことをする。”それが、人の自然な活動や感情なんだろうと考えています。



私たちが日々の活動の中で、人から見返りを求めるわけではなくても、「ありがとう」「たすがるわ〜っ」「うれしい!」なんて言葉を掛けられると「良かったな〜」なんて思いませんか? ちょっと役に立てたかな? ホンワカした気分になりませんか?

それは、ご利用者においても同じだと考えます。だからこそ、さまざまな活動の場面において個別の出来ることを職員が見極め、滞在時間中の出来ることを考え、活動として提供させていただき、少しでもご利用者自身が嬉しい気持ち・満足感・役割を感じるなどの場面を提供することが出来たらと思っています。

ワンポイント コラム

【視野に入って話す】

認知症の方との接し方

- 1メートル以内に近づいて話す。
- 後ろから声をかけると、気づかなかつたり、振り向きざまに転倒することがあるので注意をする。
- 本人の目をみる。
(本人が恥をかいたりしている場合は除く。)
- (頭の)上からのアプローチは避ける。低い位置からのアプローチを。

参考文献: Eizai 「アルツハイマー病 ケアの要点」

随時、ご見学、ご体験の希望に
対応しています。(要予約)
お気軽にご連絡ください。

中心荘第一・第二老人ホーム
地域密着型認知症対応型通所介護

〒243-0431 海老名市今泉4-7-1

電話 046-231-7152

E-mail: chusinsou1@chusinkai.jp

http://www.chushinsou.com

担当生活相談員 高橋